

平成30年11月7日

八丈島一般廃棄物管理型最終処分場
運営協議会座長 奥山 拓様

八丈島一般廃棄物管理型最終処分場
運営協議会委員
長田隆弘 村田住安 丹下遊

運営協議会における事前質問のお願い

本年度の運営協議会開催にあたり、円滑有益な協議会を求め下記内容について事前に質問書を提出します。昨年同様、運営協議会にて文書、記録、写真、ビデオで説明をお願いします。なお、質問内容については各運営協議会委員に伝えて頂けますようお願いいたします。

1. 平成29年度運営協議会「議事録」について

議事録の5ページ目下段委員①において「委員から、埋立年数17年間の件は、適正な協議をして今後検討するという話だったが、八丈処分場を建設するにあたり、私たちは町長室に行き、大島処分場が現状にある中で八丈になぜ並列で造らないといけないのか？ 財政負担的にも大きなものがかかることを訴えたら、「いや、それは大丈夫だ」ということで建設された今までの経緯があるが、それがなぜ突然今頃になって、財政負担を理由に延長という話なのか？ そうであれば、初めから大島処分場を使ってある程度目途が立ってから、次に八丈でも良かったと思うが、一組は説明会で、私たちに「今回建設できなければ、今後、八丈島では処分場は造れないかもしれない」と公にし、その結果、この処分場は建設された。話の内容がだいぶ変わっていると思うが、その中で17年間を私たちは止むを得ず引き受けたはずなのに、ここに来て、こういう話ではあり得ないのではないかとの意見があった。」

と発言しましたが、南海タイムスさんの記事で再確認したところ、説明会で一組の加藤事務局長が私たちに発言した内容は

誤)「八丈島では処分場は造れないかもしれない」

正)「八丈島では処分場は造れない。」

と言う内容の発言でしたので、訂正してご報告します。

参考資料(南海タイムス記事「ざつおん7億円の波紋」)

「中之郷で失敗していて、水海山がダメならもう造れない。国との信頼関係でも一組の言うことは信用されなくなる」。9月の説明会で、一組の加藤事務局長が話した言葉だ。水海山がいかにか処分場に適していないかは、事業費20億円に地盤改良費7億円を追加したことで明らかだが、一組は八丈島の水のリスクやコストより、「国との信頼関係」を優先し、水海山に造る方針を変えようとしなかった。

2. 今年度の処分場における安全管理について、説明をお願いします。

- 1) 上流下流のモニタリング井戸において観測用の水が不足したり、無かったりする月が増えてきている。水を透しにくい礫(れき)混じりの火山灰質粘土層をセメント固化したうえに、水を通しやすい玄武岩の上に処分場を造ったのだから観測井戸の水が無くなるのは、想定できなかったのか？
また、安全管理の上から新しい井戸を掘る等の対策が必要と思われるが、今後どのような対応を考えているのか。
- 2) 処分場から排出されている「放流水」について教えて下さい。
BOD、CODの基準値は10mg/l以下であるが、11月16日における放流水の測定結果はそれぞれ8.9、9.3と基準値に迫る値となっている。その理由は何か。また、同日の「浸出水」は7.0、10.0であった。放流水のBOD値が浸出水より高いのはなぜか。

8月22日の塩化物イオンは、浸出水1400、放流水1500。同日の電気伝導率は、浸出水443、放流水476と、浄化したあとの水の方が高い値になっている原因は何か。

- 3) 処分場内から排出される「浸出水」について教えてください。
6月15日の塩化物イオン3300は、前の月(5月18日 310)から10倍高くなっているが原因は何か。
- 4) 水質についてあらためて教えてください。
8月22日の上流側モニタリング井戸の塩化物イオンは2です。水海山の自然界に放流されている塩化物イオンは1500です。水道水質基準は200mg/L以下とされているが、「安心できる数値」と言えるのか。

処分場運用開始の平成24年11月28日から平成30年8月22日の間、放流水の大腸菌群は常に「10未満」と記録されている。平成30年9月21日に「15」検出されたのち、翌月から最新の値まで「検出せず」と記録されている。何が合ったのか具体的に説明して欲しい。また大腸菌は水道水質基準において「検出されないこと」となっているが、水海山下流の水を、島民としてどのように判断すれば良いか教えてください。

- 5) 焼却灰に含まれる有害物質について教えてください。放流水は、川・海・地下水へはいつていくが、あげられた有害物質はすべて無害化されているのか。
- 6) 焼却灰埋め立て時の風速は、5月23日19.1m/s、8月9日26.5m/sと記録されている。気象による作業中止基準は「平均風速 8.0m/秒 10 分間継続」となっているが、埋立は行われたのか。

3. 処分場について教えてください。

- 1) 近年ゲリラ豪雨など異常気象が多いが、処分場の耐用雨量はいくつか。また水海山で測定されている日々の雨量を教えてください。万が一処分場内の水が溢れた場合の対策を教えてください。
- 2) 埋立終了(処分場閉鎖、公園化など)後に、埋め立てた灰が無害化するまでの年数を教えてください。
- 3) 処分場の埋立期間17年という数字は、私たちが求めた数字ではなく、一組が計画した値です。「17年」という数字が出されたために、「17年後には樹を植えたりして公園などになる」という希望をもって水海山処分場を受け入れた人も多い。約束として守るべきではないか。
- 4) 水海山処分場を建設するにあたり10年を要しました。新たに作る処分場の規模や立地の条件、費用等の検討はどのように進めていくのか。
- 5) 大島の処分場で、補修が行われたということですが、その内容や費用を教えてください。
- 6) 海中や河川・湖沼のマイクロプラスチックが問題になっていますが、焼却灰の有害物質が漏れ出さないための遮水シートの強度について、水海山では、年数を経て劣化の状況はどうなのか、点検はどのように行っているのか。

4. 運営協議会について

- 1) 運営協議会とは島民が安心して水海山の施設の現状を知るために行政(一組)と忌憚なく話せる唯一の話し合いの場であるとおもうが会議時間が限られているため質問を事前に出さなくてはならない。一組の専門的な説明が長いなどの理由で制限が多く島民の声が十分に伝わらないように毎回感じるので別枠の会をオープン形式で行う事が必要であり、こう言った希望を感じている島民がいることに対してどう対処していただけるのか。
- 2) 運営協議会で直接質疑応答が出来る時間が短いので、十分な時間を作って欲しい。
- 3) 傍聴に来ている人は関心が高いのでその場で声を拾って質問や要望に応じていただきたい。
- 4) 質問書をだしても答えが時間制限や資料参照を言われ割愛されることが多いが、年に一回なので島民の質問にしっかりと答えて頂きたい。
- 5) 平日、午前からなど一般傍聴がしにくい日程を変えて頂くよう検討して欲しい。